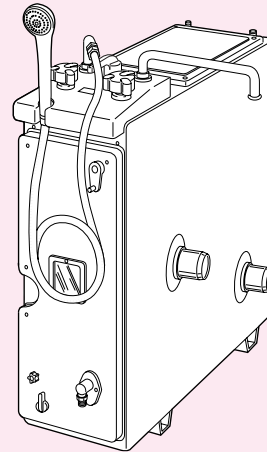


# ガスBFふろがま

131-9000/9001/9010/9011型  
131-9006/9007型

< BL認定品 >	型式名	GBSQ-806 GBSQ-606
< 非BL認定品 >	型式名	GBSQ-605



(131-9000型)

## もくじ

必ずお守りください(安全上の注意) .....	1
各部のなまえとはたらき .....	8
初めてお使いになるときは .....	9
使いかた	
たね火を点火する .....	10
お湯を出す/お湯の温度を調節する .....	11
おふろの追いだきをする .....	13
ご使用後は(消火) .....	14
台所などでお湯を使う(給湯配管してある場合) .....	15
冬期の凍結による破損予防 .....	16
日常の点検・手入れのしかた .....	17
故障かな?と思ったら .....	19
アフタ・サ・ビスについて .....	20
主な仕様 .....	21

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先

別添 大阪ガスのお問い合わせ先  
をご参照します。

**おねがい** ガスくさいときは、ガス栓を閉め窓を全開にして(火気に注意して)大阪ガスにご連絡ください。

## 取扱説明書

### 大阪ガス

このたびは大阪ガスのガスBFふろがまをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
・この説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。  
・別添の保証書の内容もよくお読みいただき、必ずお買い上げ日・販売店名等の記入を確かめてください。  
・この説明書はいつでもご覧になれるところに保管してください。

SAQ8136






\*SAQ8136 T\*

# 必ずお守りください(安全上の注意)






## 安全に正しくお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。  
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

### ■ 危害・損害の程度による内容の区分

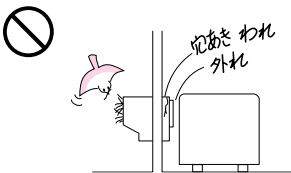
 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
<b>お願い</b>	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

### ■ 注意・禁止内容の絵表示

	高温注意		禁止
	火気禁止		接触禁止
	分解禁止		

## ⚠️ 危険

### 給排気トップの外れ、穴あき、詰まり



給排気トップが外れていたり穴があいていないか確認してください。  
給排気トップに鳥などの巣ができていたり、ゴミなどが詰まったりしていないか確認してください。  
排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。

## ⚠️ 危険

### ガス漏れ時の処置



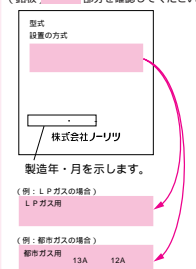
ガス漏れに気づいたときは、次の1～3の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけない。  
電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切や、電源プラグの抜き差しをしない。  
周辺の電話も使用しない。  
火や火花で引火し、火災のおそれがあります。  
1. すぐに使用をやめ、機器のガス栓を閉じる。  
2. 窓や戸を開け、ガスを外へ出す。  
3. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。

## ⚠️ 警告

### 使用ガスの確認



銘板 ラベルに表示しているガスの種類以外では使用しないでください。  
表示以外のガスで使用すると、異常な燃焼・点火の時の爆発などの原因になります。  
わからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。



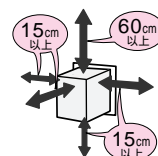
### 異常時・緊急時の処置

1. 器具栓つまみを「0」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. 給湯配管している場合、給水元栓を閉める。



異常時 給排気トップから煙が出る、こげ臭いなどまたは、地震・火災などの緊急の場合は上記の処置をし、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。  
火災・故障などの予防のため。

### 周囲の防火措置



給排気トップのまわりに燃えやすい物(新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)がある場合は、最低限必要な距離をとってください。  
火災予防のため。

### 機器の分解禁止



機器は絶対に分解しないでください。  
故障の原因になります。

## ⚠警告

### やけどに注意



高温注意



シャワーなどお湯を使用するときは、手でお湯の温度を確かめてから使用してください。やけど予防のため。

入浴の際には、手でお湯の温度を確認してから入浴してください。やけど予防のため。

シャワーなどお湯を使用中に、トイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の水压が下がり、熱湯が出る場合がありますので注意してください。

使用中や使用直後は、機器や出湯管が熱くなりますのでさわらないでください。長時間の追いだし後にお湯を使うと、熱湯が出る場合がありますので注意してください。

### 入浴前にお湯をかきまぜるやけどに注意

お風呂を沸かした後は、お湯の上の方が熱くなっていますので、よくかきまぜて、必ず手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

### 水漏れに注意

機器および配管から水漏れはないか注意してください。

思わぬ事故を予防するため。お隣や階下にも多大な迷惑をかけます。

### やけどに注意

(シャワーのお湯が止まったとき)



高温注意

シャワーのお湯が止まったときに、再使用するため出湯管からお湯を出すと熱いお湯が出ます。(P19)  
お湯が体にあたらないよう充分に注意してください。やけど予防のため。

### つまみはマークに合わせる

器具栓つまみや能力切替つまみ、およびシャワー出湯管切替つまみはマークの位置に合わせて使用してください。(多少ずれる場合があります。)

マーク以外の位置で使用すると、水压変化によって熱いお湯が出る場合があります。また、異常着火して大きな音がしたり、機器が変形することがあります。変形した場合は、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

### 製品の設置・移動工事は

製品の設置・移動及び付帯工事は、販売店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

思わぬ事故を予防するため。

### 火災の予防



給排気トップのまわりに燃えやすい物(洗濯物、新聞紙、木材、灯油、スプレー缶など)を置かないでください。火災の原因になります。

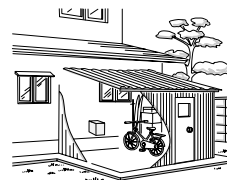
たね火・本火をつけたままのお出掛けやおやすみは絶対にしないでください。

火災の原因になります。

## ⚠警告

### 波板囲いなどの禁止

給排気トップを増改築などによって、機器を屋内状態にしないでください。また、波板などによって囲いをしないでください。一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



### 屋外設置の禁止



この機器は屋内設置形式です。屋外への設置は絶対にしてしないでください。雨水が侵入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。

### お子様には充分注意を

使用中に湯温調節つまみ・能力切替つまみはさわらないでください。

やけど予防のため

## ⚠注意

### 点火確認窓について

点火確認窓を外したまま点火操作をしないでください。

一酸化炭素中毒の原因になります。

### 排水口の詰まり

浴室の排水口はこまめに掃除してください。排水口が詰まると、機器内に水が入って点火の際に炎があふれ、機器の焼損や火災の原因になります。



### 強化ガスホースの注意

強化ガスホースは、折れたりねじれたりしないようにしてください。また、機器の下を通したり、触れたりしないようにしてください。強化ガスホースがひび割れたり差し込み口がゆるくなった場合は、販売店にご相談ください。

ガス漏れの原因になります。

## ⚠️注意

### やけどに注意



接触禁止



給排気トップのまわりは、使用中や使用後しばらくは高温です。手を触れないでください。

やけど予防のため。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 正常燃焼の確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを確認してください。(異常：黒い煙が出る、点火確認窓から赤い炎が見えるなど)

思わぬ事故を予防するため。

### 再点火時の注意

たね火が点火しないとき、または途中で消火したときは、機器内にガスが残っている場合があるので、1分以上待ってから再点火してください。

点火時の爆発を予防するため。

### お出かけ・おやすみ時の注意

お出かけ・おやすみになるときは、ガス栓を必ず閉めてください。

思わぬ事故を予防するため。

### ホースを接続しての給湯使用禁止

出湯管の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。

お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を開けても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。

### 本火着火時の注意

たね火から本火への着火の時に、3秒以上たっても着火しないときは、操作をやめてつまみを「0」にもどしてください。

機器内にガスが残っている場合があるので、約10分待ってから再操作をしてください。再操作しても着火しないときは、すぐにお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

異常な着火を予防するため。

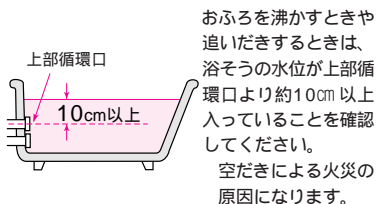
### 用途について

お風呂などの給湯、シャワー、お風呂を沸かす以外の用途には使用しないでください。

思わぬ事故を予防するため。

機器や配管内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いず雑用水としてお使いください。

### 浴そうの水位について



### 乾電池に関する注意(お願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処置を依頼してください。

もしお客様で旧機器の処置をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処置をしてください。

## お願い

### お風呂沸かし時の注意



浴そうの循環口を、タオルなどでふさいだり、穴に物を詰めたりしないでください。

追いだきしたときに、機器内のお湯が沸とうしてやけどをするおそれがあります。

追いだき中や追いだき後は、浴そうのお湯の温度が上部と下部で相当の温度差がある場合がありますので注意してください。

やけど予防のため。

循環口近くで水に潜らないでください。

思わぬ事故の原因になります。

### 入浴剤や洗剤の注意



硫黄(イオウ)、酸、アルカリを含んだ入浴剤や洗剤は使用しないでください。入浴剤や洗剤は注意文を充分にお読みになってから、お使いください。機器の熱交換器が腐食する原因になります。

入浴剤を使用して追いだきした時に、沸き上がり音や振動する音が出る場合は、それ以降その入浴剤の使用をやめてください。

### 長期間使用しない場合

長期間使用しない場合、凍結および万一のガス漏れを防止するため、必要な処置をしてください。(P16)

### 使用中の注意

シャワーホースは折り曲げて使用すると、熱湯が出る場合があります。折れ曲がる時は早めに交換してください。

やけど予防のため。

シャワーヘッドは、浴そうや洗面器の水の中に入れてください。

逆流予防のため。

機器の上に金属性のもの(ヘアピン、カミソリ、おもちゃなど)を置かないでください。

機器がさび、穴あきなどの原因になります。つまみの部分になるべく湯・水がかからないようにしてください。

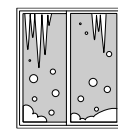
水が内部に入り故障の原因になります。

塩素系のカビ洗浄剤などが塩が機器や強化ガスホースなどにかかった場合は、機器に水が入らないようにその部分を水洗いしてください。

浴室に洗濯機などの排水をする場合は、排水が直接機器にかからないように注意してください。

機器がさび、思わぬ事故の原因になります。

### 凍結に注意



冬期は、凍結による機器の破損予防のため必要な処置をしてください。

(P16)

凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

### 積雪時の注意

積雪時には給排気トップの点検、除雪をおこなってください。

給排気トップへの積雪や屋根から落ちた雪により、給排気トップがふさがれて不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

## お願い

### ガス事故防止

使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

### 排気ガスについて

排気ガスが直接建物の外壁や窓、アルミサッシ(網入りガラスなど)に当たらないように設置してください。

増改築時と同様に注意してください。

ガラスが割れたり、変色する原因になります。

### 太陽熱温水器との接続禁止

太陽熱温水器とは絶対に接続しないでください。

高温のお湯が出るなど、やけどの危険性が高くなります。また機器の故障の原因にもなります。

### 市販の補助用具使用について

機器の純正部品以外は使用しないでください。思わぬ事故を予防するため。

### 特監法対象製品です

この製品の設置工事及び変更工事は、法律(特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律)に基づいておこない、工事完了後機器本体に法定のステッカーを貼り付けることになっておりますので確認してください。

### この製品は一般家庭用です

業務用のような使い方をされると製品の寿命を短くします。この場合の修理は保証期間内でも有料になることがあります。

### 温泉水や自家用井戸水で使うと

水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合があります。

## 各部のなまえとはたらき

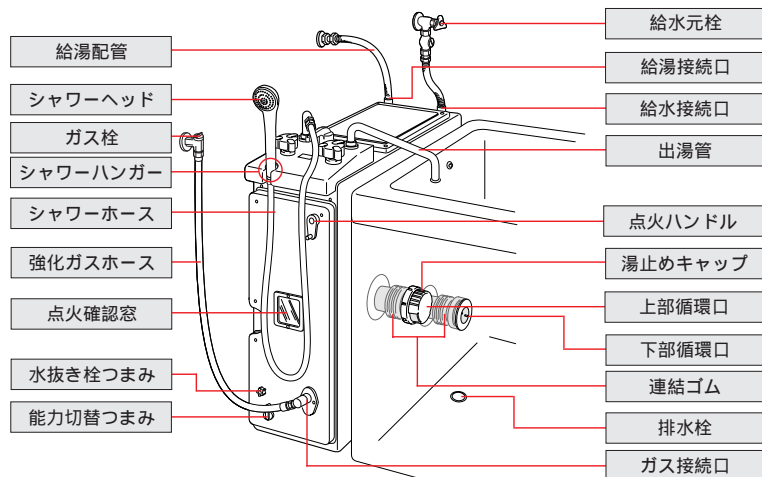
### 機器本体

131-9000型, 131-9006型, 131-9010型

【浴室内設置形】

131-9001型, 131-9007型, 131-9011型については、能力切替つまみ・給水接続口・循環口・シャワーと出湯管の位置は左右逆になります。

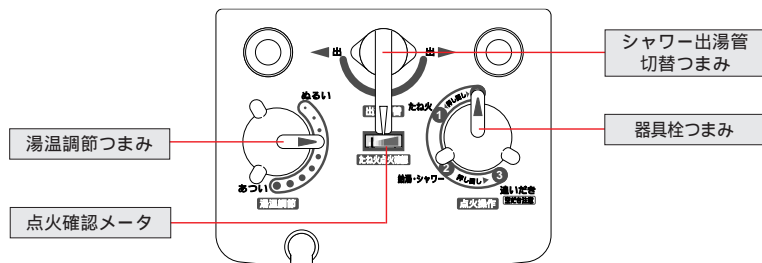
131-9006型, 131-9007型のみ給水接続口・給湯接続口の位置が異なります。



上のイラストは施工例です。

配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

### 操作部

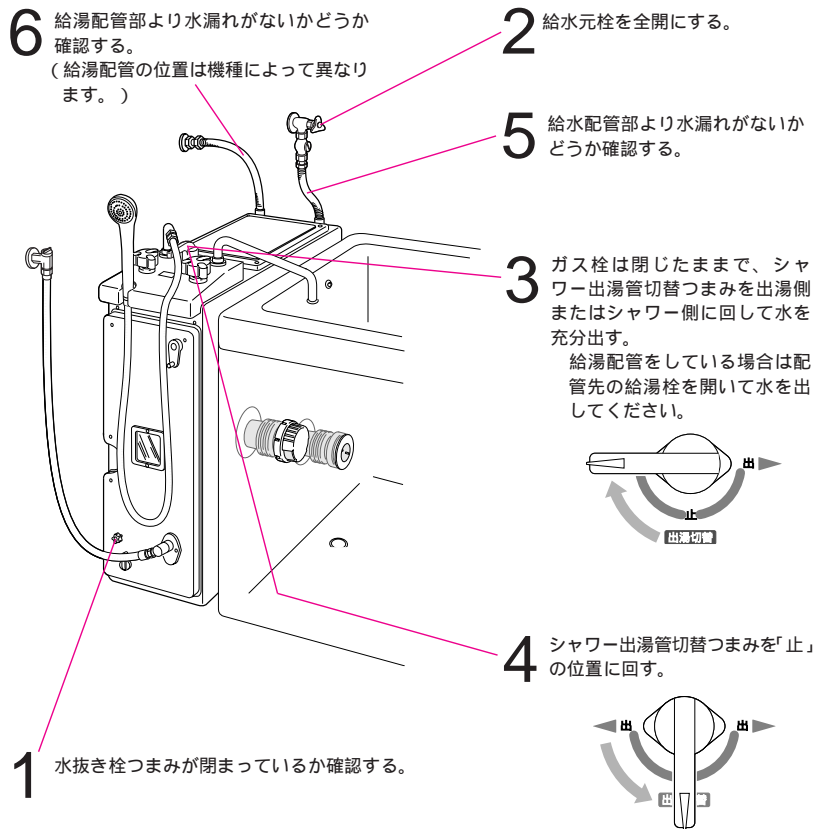


# 初めてお使いになるときは

初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～6の手順でおこなってください。

131-9000型で説明していますが、他の機種でも手順は同じです。



1 水抜き栓つまみが閉まっているか確認する。

2 給水元栓を全開にする。

6 給湯配管部より水漏れがないかどうか確認する。  
(給湯配管の位置は機種によって異なります。)

5 給水配管部より水漏れがないかどうか確認する。

3 ガス栓は閉じたままで、シャワー出湯管切替つまみを出湯側またはシャワー側に回して水を充分出す。  
給湯配管をしている場合は配管先の給湯栓を開いて水を出してください。

4 シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回す。

上のイラストは施工例です。

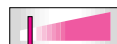
配管の位置・形状、給水元栓・ガス栓の位置など実際と異なります。

# 使いかた たね火を点火する

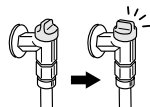
お湯を出す場合・追いだきをする場合は、まずたね火を点火してください。

## 点火前の準備

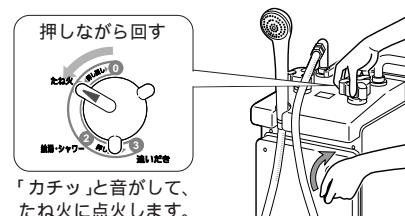
1. 器具栓つまみは「0」、点火確認メータは左の位置にあるか確認する。



2. ガス栓を開ける。



1 器具栓つまみを「1」に押し回しながら点火ハンドルを右に回す



器具栓つまみと「1」(たね火)の表示の位置は、多少ずれることがあります。問題ありません。

2 点火確認メータの針が右の赤い部分の位置に来るまで器具栓つまみを押し続ける



3 器具栓つまみを離しても点火確認メータの針が元に戻らないことを確認する

点火確認メータの針が戻る場合は点火していないので、もう一度1からやり直してください。

はじめて使用される場合や長時間使用しなかった後は、ガス配管等に空気がたまっていますので、1回で点火しない場合があります。この時はたね火が点火するまで上記の操作を繰り返してください。

**注意** 異常着火の予防のために

器具栓つまみはたね火の位置で15秒以上押さないでください。15秒以内でたね火に点火しないときは、機器内にガスが残っている場合があるので、器具栓つまみを「0」の位置に戻して1分以上待ってから再点火してください。  
途中で消火したときは、機器内にガスが残っている場合があるので、1分以上待ってから再点火してください。

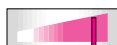
使いかた

# お湯を出す/お湯の温度を調節する

出湯管からお湯を出すとき(お風呂にお湯をためる、またはあがり湯を使う)やシャワーを使うときは、シャワー出湯管切替つまみで切り替えます。

## 操作前の準備

点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P10)



## 1 器具栓つまみを「2」に回す

器具栓つまみを「2」(給湯・シャワー)に合わせる。



器具栓つまみと「2」(給湯・シャワー)の表示の位置は、多少ずれることがあります。問題ありません。

## 2 シャワー出湯管切替つまみを左右どちらかに回してお湯を出す

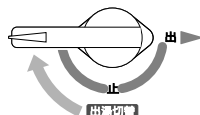
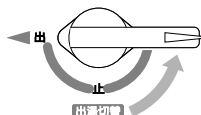
お風呂に湯をためる  
または  
あがり湯を使う

シャワーを使う



シャワー出湯管切替つまみを  
出湯管側へ止まるまで回す。

シャワー出湯管切替つまみを  
シャワー側へ止まるまで回す。



本火に着火して、出湯管またはシャワーよりお湯が出ます。

131-9001, 131-9007, 131-9011型についてはシャワーと出湯管の位置は左右逆になります。

## 3 湯温調節つまみでお湯の温度を調節する

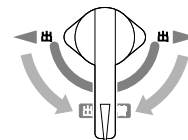


「ぬるい」……お湯の量が増えぬくなる  
「あつい」……お湯の量が減りあつくなる

湯温調節つまみで調節しても、お湯の温度が熱すぎる(ぬるすぎる)ときは、能力切替つまみで能力を切り替えてください。

## 4 お湯を止めるときは、シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に回す

お湯が止まります。



この位置では本火が消えて、たね火のみ点火しています。

お湯を使用しないときは  
器具栓つまみを「1」に戻す



入浴後はたね火を消火してください。(P14)

## 警告

やけど予防のために



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手で湯の温度を確認してから使用してください。  
シャワーなどお湯を使ったあと、あらためて使用するときには、一瞬熱いお湯が出るがあるので注意してください。  
湯温調節つまみの位置を確認してからお湯を出してください。



シャワー出湯管切替つまみは、「◀出」または「出▶」の位置に合わせてください。途中の位置で使用すると熱いお湯が出ることがあります。

<給湯配管してある場合>

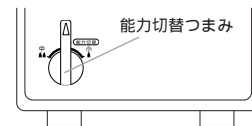
浴室でシャワーやあがり湯を使用しているときは、台所や洗面所などの給湯配管先でお湯を使用しないでください。  
使用中や使用直後は、機器や出湯管などが熱くなりますのでさわらないでください。



## 能力切替つまみの使用方法

能力を切り替える場合は、いったんお湯を止めてください。  
お湯の使用中に能力を切り替えると、熱いお湯が出ることがあります。

- ・熱すぎる …… 能力切替つまみを「大」から「中」に切り替えて、湯温調節つまみで調節する。それでもまだ熱すぎるときは、「中」から「小」に切り替えて、湯温調節つまみで調節する。
- ・ぬるすぎる … 熱すぎるるときと逆に「小」から「中」、「中」から「大」へと切り替えて、湯温調節つまみで調節する。



(能力切替つまみの位置は、浴そうが右にある場合は左の位置に(上図)、浴そうが左にある場合は右の位置になります。)

能力切替つまみは「小」、「中」、「大」の位置に確実に合わせてください。  
途中の位置で使用すると不完全燃焼の原因となります。

使いかた

# おふろの追いだきをする

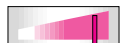
お風呂にお湯をためたあと温度がぬるい場合は、追いだきをしてください。  
(お風呂を水から沸かす場合は、お湯を落とすし込むより時間が長かかります。)

## 操作前の準備

1. 浴そうの排水栓をしっかりと差し込んであるか確認する。
2. 浴そうの上部循環口より約10cm以上お湯または水が入っているか確認する。



3. 点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P10)



## 1 器具栓つまみを「3」に押し回す

器具栓つまみを「3 (追いだき)」の位置に合わせる。



本火に着火して追いだきします。

器具栓つまみと「3 (追いだき)」の表示の位置は、多少ずれることがあります。問題ありません。

## 2 お風呂が適温になれば、器具栓つまみを「1」に戻す



追いだきのあとでお湯を使いたいとき

「2 (給湯・シャワー)」の位置に合わせる。



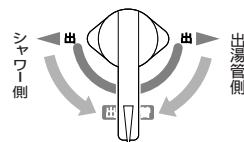
長時間の追いだき後にお湯を使うと、熱湯が出る場合がありますので注意してください。

使いかた

# ご使用後は(消火)

入浴がすんだら、必ずたね火を消火してください。

## 1 シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に戻す 給湯配管先の給湯栓を閉める



給湯配管先の給湯栓



## 2 器具栓つまみを「0」に戻す



点火確認メータが左の位置に戻ったことを確認してください。



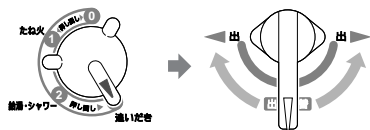
消火完了位置

## ⚠️ 注意

浴そうのお湯または水が少ないと、空だき状態となり、火災の原因になりますので特に注意してください。  
お風呂を沸かした後は、お湯の上の方が熱くなっていますので、よくかき混ぜて、必ず手でお湯の温度を確認してから入浴してください。

## お風呂の追いだきをしながら同時に湯を使いたいとき

- ① 器具栓つまみを「3 (追いだき)」の位置にする。
  - ② シャワー出湯管切替つまみをシャワー側か出湯管側に合わせる。
- (お湯の温度調節 P12)



入浴後やおやすみになる前、お出かけになるときは、ガス栓、給水元栓を必ず閉めてください。



使いかた

# 台所などでお湯を使う(給湯配管してある場合)

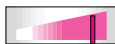
給湯配管(別途工事)してある場合は、台所や洗面所でもお湯が使えます。

給湯配管先で初めてお湯をお使いになるときは・・・

1. 給湯配管先の給湯栓を開け、しばらくして給湯栓から水が流れ出ることを確認する。
2. 給湯栓を閉め、以下の操作で使用してください。

## 操作前の準備

点火確認メータが右の赤い部分の位置にあることを確認する。(P10)



### 1 器具栓つまみを「2」に回す



器具栓つまみと「2(給湯・シャワー)」の表示の位置は多少ずれることがありますが、問題ありません。

### 2 給湯配管先の給湯栓を開く



自動的に本火に着火して、お湯が使えます。

他栓の給湯栓は全開にして使用してください。お湯の温度調節は、湯温調節つまみまたは、能力切替つまみでおこなってください。(P12)

### 3 使用後は、器具栓つまみを「0」に戻す



点火確認メータが左の位置に戻ったことを確認してください。



おやすみになる前やお出かけになるときは、ガス栓、給水元栓を必ず閉めてください。

## 注意

やけど予防のために



高温注意

浴室でシャワーやあがり湯を使用しているときは、台所や洗面所などの給湯配管先でお湯を使用しないでください。出湯管の先にホースなどを接続してお湯を使用しないでください。また、給湯配管して給湯栓をつけないでください。お湯が絞られて熱湯が出たり、給湯栓を閉めても燃焼し続けるなど、やけどの原因になります。

# 冬期の凍結による破損予防

冬期には機器や配管内の水が凍結し、破損することがありますので、以下の要領で水抜きによる凍結予防をしてください。また、長期間使用しない場合も、水抜きをおこなってください。

## 注意



高温注意

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。やけど予防のため。

- 1 浴そう内の水を排水する。
- 2 器具栓つまみを「0」の位置にする。
- 3 ガス栓を閉める。
- 4 給水元栓を閉める。
- 5 シャワー出湯管切替つまみを出湯管側に回す。
- 6 湯温調節つまみを「ぬるく」の位置まで回す。
- 7 水抜き栓つまみを左いっぱいに戻す。(つまみ中央の穴から水が出ます。)
- 8 シャワーヘッドをシャワーハンガーからはずし、床においてシャワーホース内の水を抜く。

(131-9000型の例)

再び使用するまで、そのままの状態にしておきます。

## 再使用のとき

1. シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置に合わせ、シャワーヘッドをシャワーハンガーにかける。
2. P9「初めてお使いになるときは」の手順1～6にしたがってください。

## 凍結して水が出ないとき

自然に解凍するのを待ち、凍結したままでは絶対に使用しないでください。機器の故障の原因となります。水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ、ご使用ください。凍結により本体が破損したときの修理は、保証期間内でも有料修理になります。

# 日常の点検・手入れのしかた

## ⚠️ 注意



高温注意

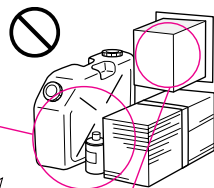
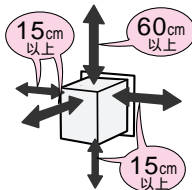
点検・お手入れは、ガス栓を開めておこなってください。  
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、  
機器が冷えてからおこなってください。  
やけど、その他の事故の予防のため。

## 点 検 (月 1 回程度)

チェック!

給排気トップのまわりに洗濯物・新聞紙・  
木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいもの  
を置いていませんか。

< 燃えやすい物と離す最低限必要な距離 >



チェック!

給排気トップがほこりなどでふさがって  
いませんか。

チェック!

機器・配管から水漏れ  
はありませんか?

チェック!

機器の上に、ヘアピン、  
カミソリ、おもちゃ、  
シャンプー、ブラシなど  
を置いていませんか?

チェック!

機器の外観に異常な変  
色やキズはありません  
か?

チェック!

点火確認窓が汚れで  
くもっていませんか?

チェック!

強化ガスホースがゆる  
んだり傷んだりしてい  
ませんか?

チェック!

機器から異常音が聞こ  
えませんか?

(131-9000型の例)

## お手入れ (こまめに掃除)

### 浴室

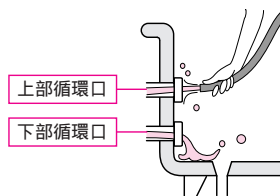
浴室は湿気が多いので、使用后必ず窓などを開け換気をよくしてください。  
浴室の排水口をよく掃除して、排水が充分おこなえるようにし、機器の底部が水につからない  
ようにしてください。

### 機器外装

使用后、乾いた布で機器外装についた水分をふきとってください。  
点火確認窓は炎がよく見えるようにときどきふいてください。  
万一さびが浮き出た場合は、乾いた布でふきとってください。  
そのまま放置するとさびが進行していきますのでご注意ください。

### 機器内部

こまめに手入れをおこなってください。



1. 上部循環口の湯止めキャップをはずす。
2. 循環口へ水道からホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出す。
3. 上部循環口、下部循環口と交互に水洗いして機器内部をきれいにする。
4. 上部循環口に湯止めキャップを元どりにつける。

# 故障かな？と思ったら

## 次のことをお調べください

- たね火が点火しない
  - ・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
  - ・ガスメータ(マイコンメータ)がガスをしゃ断していませんか？
  - ・LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？
  - ・点火確認メータの針が右の赤い部分の位置にくるまで、器具栓つまみを押し続けていますか？
- 高温のお湯が出ない  
低温のお湯が出ない
  - ・ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
  - ・お湯の温度調節は適切ですか？(P11,12)

## 次のような場合は故障ではありません

- お湯が白く濁って見える  
これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられて、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダーなどの泡と似た現象であり汚濁とは違い、無害です。
- 寒い日に給排気トップから白い煙が出る  
冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。
- 連結ゴムに水滴がついている  
おもに夏場、室温と水温の差によって水滴がつく現象で、水漏れではありません。
- 燃焼中、浴そう内をかくはんすると、上部循環口から気泡が出て「ポコン、ポコン」と音がする  
機器内にたまっている空気が出ています。
- 給湯配管先の給湯栓を開いても、すぐお湯が出てこない  
機器から給湯配管先の給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
- シャワーのお湯が止まる  
長時間追っただきした直後は、シャワーから熱いお湯が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まることがあります。次のAまたはBの方法で再使用できます。

- A(1) シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置にする。(右図)
- (2) 器具栓つまみを「0」に戻し、約10分以上待つ。
- B(1) シャワー出湯管切替つまみを「止」の位置にする。(右図)
- (2) 出湯管からお湯を出す。(このとき熱いお湯が出るためお湯が体にあたらぬよう十分に注意してください。)
- (3) 適温になったことを確認してから、シャワーに切り替える。



以下の場合、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

- ・上記以外の現象
- ・上記の処置をしてもなお異常のあるとき
- ・その他、わからないとき

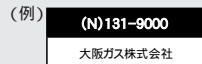
# アフターサービスについて

## サービスを依頼される時

19ページの「故障かな？と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

### 連絡していただきたい内容

品名 ..... 131-9000・9001・9006・9007・9010・9011型  
(下記のようなラベルを本体の正面上の銘板の中に印刷してあります)



お買い上げ日 ... (保証書をご覧ください)  
異常の状況 ..... (故障表示など、できるだけ詳しく)  
ご住所・ご氏名・電話番号  
訪問ご希望日



## 保証について

取扱説明書には保証書がついています。必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の最低保有期間について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後10年です。但し、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

## 移設される場合

転居などで本体を移設される場合は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類が移設先と合っているか必ずご確認ください。不明のときは、移設先のガス事業所・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

# 主な仕様

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

## 仕様表

製 品 名	131-9000・9001型	131-9010・9011型	131-9006・9007型
型 式 名	GBSQ-806	GBSQ-606	GBSQ-605
外 形 寸 法 mm	高さ693×幅250×奥行605	高さ693×幅230×奥行605	
重 量	本 体 kg	18	17
	給排気トップ kg	4 (200型の場合)	
接 続 口 径	給 湯	R1/2	
	給 水	R1/2	
	ガ ス	T U接続 R1/2	
水 圧	使 用 水 圧 kPa	68.7 (0.7kgf/cm <sup>2</sup> ) 以上	
	作 動 水 圧 kPa	湯温調節つまみ 全開時 49.1 (0.5kgf/cm <sup>2</sup> ) 全閉時 34.3 (0.35kgf/cm <sup>2</sup> )	
最 低 作 動 流 量 ℓ/分	湯温調節つまみ 全開時 6.6 全閉時 2.3	湯温調節つまみ 全開時 6.6 全閉時 1.8	
点 火 方 式	圧電点火方式		
循環パイプ取付口径 mm	45		
制 御 装 置	水圧自動ガス弁(ダイヤフラム部)、ガス圧自動調整器、水圧自動調整器、能力切替装置(能力切替つまみ)		
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、過熱防止装置、凍結予防装置(水抜き栓)、過圧防止安全装置(残火安全装置)、高温閉止栓		

## 能力表

型 式 名		GBSQ-806						
使 用 ガ ス	1時間当りのガス消費量(最大消費量)			出湯能力(最大時)ℓ/分				
	ふるっ追いだき	給湯能力大	同時使用	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
都市ガス用kW(kcal/h) 13A	8.4(7,200)	18.6(16,000)	26.5(22,800)	7.3	3.8	8.5	4.4	5.3
L Pガス用 kW(kcal/h)	8.4(0.6)	17.5(1.25)	25.6(1.83)	6.7	3.4	8.0	4.0	5.0

型 式 名		GBSQ-606, GBSQ-605						
使 用 ガ ス	1時間当りのガス消費量(最大消費量)			出湯能力(最大時)ℓ/分				
	ふるっ追いだき	給湯能力大	同時使用	水温+15℃上昇		水温+25℃上昇		水温+40℃上昇
都市ガス用kW(kcal/h) 13A	9.9(8,500)	14.5(12,500)	24.0(20,600)	7.5	3.8	6.5	4.5	4.1

# メモ



メモ欄として活用してください。